



平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年2月12日

東

上場会社名 株式会社中村超硬 上場取引所
 コード番号 6166 URL <http://www.nakamura-gp.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 井上 誠
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営統括部長 (氏名) 増田 宏文 (TEL) 072-274-1072
 四半期報告書提出予定日 平成28年2月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第3四半期の連結業績 (平成27年4月1日～平成27年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	4,811	32.5	980	64.5	1,026	45.0	886	3.0
27年3月期第3四半期	3,630	—	596	—	707	—	861	—

(注) 包括利益 28年3月期第3四半期 887百万円(3.1%) 27年3月期第3四半期 860百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第3四半期	228.18	225.00
27年3月期第3四半期	261.47	—

(注) 1. 平成26年3月期第3四半期においては、四半期連結財務諸表を作成していないため、平成27年3月期第3四半期の対前年同四半期増減率を記載しておりません。

(注) 2. 当社は、平成27年6月24日に東京証券取引所マザーズ市場に上場したため、平成28年3月期第3四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額は、新規上場日から平成28年3月期第3四半期連結会計期間末までの平均株価を期中平均株価とみなして算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第3四半期	9,994	4,727	47.3
27年3月期	7,995	2,443	30.6

(参考) 自己資本 28年3月期第3四半期 4,727百万円 27年3月期 2,443百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
28年3月期	—	0.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想 (平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,700	30.8	1,410	72.1	1,400	51.2	1,270	17.9	320.69

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 ー社(社名)ー 、除外 ー社(社名)ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年3月期3Q	4,185,900株	27年3月期	3,293,000株
② 期末自己株式数	28年3月期3Q	ー株	27年3月期	ー株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年3月期3Q	3,885,519株	27年3月期3Q	3,293,000株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ではありますが、この四半期決算短信の開示時点においては、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、エネルギー価格の下落に伴うコスト負担軽減が企業業績を押し上げ、また所得・雇用環境の改善等と合わせ緩やかな回復基調で推移しましたが、中国をはじめとする新興国・資源国経済の低迷等、世界経済における減速懸念が顕在化し、景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

このような経営環境において、当社グループは、主力事業である電子材料スライス周辺事業を中心に、生産能力増強、製品競争力強化等に取り組み、収益力の向上に努めてまいりました。また、今後の継続的な成長を実現するために新規事業開発室を新設し産官学連携を強力に推進する等、新規事業基盤の構築に向けた研究開発体制の強化も図っております。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は4,811百万円（前年同期比32.5%増）、営業利益は980百万円（前年同期比64.5%増）、経常利益は1,026百万円（前年同期比45.0%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は886百万円（前年同期比3.0%増）となりました。

なお、セグメントの業績は次のとおりであります。

① 電子材料スライス周辺事業

電子材料スライス周辺事業においては、主要顧客に対する販売が予定通り推移するとともに、課題とする新規顧客開拓への取り組みにおいても、今後の取引量拡大に向け一定の成果を得ることができました。また、急拡大する顧客ニーズに応えるため生産能力増強等の取り組みを推進し、平成27年9月に機関決定した新工場（大阪府和泉市）についても、生産ラインの設置が順調に進捗しました。

これらの結果、売上高は3,327百万円（前年同期比52.3%増）、セグメント利益は896百万円（前年同期比77.0%増）となりました。

② 特殊精密機器事業

特殊精密機器事業においては、工作機械向け耐摩工具の販売は堅調に推移したものの、当社顧客が扱う新型実装機の販売進捗遅れ等により実装機向け部品の販売が低調に推移しました。

これらの結果、売上高は466百万円（前年同期比9.9%減）、セグメント損失は21百万円（前年同期は3百万円の利益）となりました。

③ 化学繊維用紡糸ノズル事業

化学繊維用紡糸ノズル事業においては、各種ノズル、特殊加工品の納品が順調に進捗したことにより売上・利益面ともに堅調に推移しました。

これらの結果、売上高は1,016百万円（前年同期比9.6%増）、セグメント利益は100百万円（前年同期比31.7%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産

現金及び預金の増加1,203百万円、有形固定資産の増加848百万円等により、総資産は前連結会計年度末に比べ1,998百万円増加し9,994百万円となりました。

② 負債

短期借入金の減少210百万円、1年内返済予定の長期借入金の減少162百万円、長期借入金の増加97百万円等により、負債は前連結会計年度末に比べ284百万円減少し5,267百万円となりました。

③ 純資産

資本金の増加698百万円、資本剰余金の増加698百万円、利益剰余金の増加886百万円により、純資産は前連結会計年度末に比べ2,283百万円増加し4,727百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年3月期の通期業績予想につきましては、当第3四半期連結累計期間の業績ならびに今後の見通しを勘案し、当初予想数値を修正しております。

詳細につきましては、本日（平成28年2月12日）公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、
「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)及び
「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)
等を、第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額
を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更い
たしました。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定
による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方
法に変更いたします。加えて、四半期純利益等の表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、
前第3四半期連結累計期間については、四半期連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び
事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点
から将来にわたって適用しております。

なお、当第3四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響額はあります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,989,627	3,193,464
受取手形及び売掛金	790,121	631,077
商品及び製品	144,878	52,934
仕掛品	281,572	406,603
原材料及び貯蔵品	259,924	392,766
その他	601,362	510,899
流動資産合計	4,067,488	5,187,745
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,473,075	1,643,449
土地	1,204,139	1,204,139
その他(純額)	889,552	1,567,421
有形固定資産合計	3,566,767	4,415,011
無形固定資産	101,045	97,235
投資その他の資産	260,534	294,713
固定資産合計	3,928,347	4,806,959
資産合計	7,995,836	9,994,705

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	314,065	388,025
短期借入金	835,000	625,000
1年内返済予定の長期借入金	1,004,578	842,552
未払法人税等	83,214	69,663
賞与引当金	81,771	33,487
受注損失引当金	8,903	8,022
その他	502,043	468,200
流動負債合計	2,829,576	2,434,951
固定負債		
長期借入金	2,057,366	2,155,077
役員退職慰労引当金	160,664	157,257
退職給付に係る負債	174,073	190,881
その他	330,325	329,193
固定負債合計	2,722,430	2,832,410
負債合計	5,552,007	5,267,361
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,301,875	2,000,122
資本剰余金	—	698,247
利益剰余金	1,126,052	2,012,667
株主資本合計	2,427,927	4,711,038
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△111	△84
繰延ヘッジ損益	△988	220
為替換算調整勘定	17,001	16,169
その他の包括利益累計額合計	15,901	16,305
純資産合計	2,443,828	4,727,344
負債純資産合計	7,995,836	9,994,705

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
売上高	3,630,778	4,811,098
売上原価	2,268,524	2,872,797
売上総利益	1,362,253	1,938,301
販売費及び一般管理費	766,018	957,554
営業利益	596,234	980,746
営業外収益		
受取利息	96	259
受取配当金	44	50
助成金収入	29,623	20,021
持分法による投資利益	35,362	7,091
保険解約返戻金	—	49,150
業務受託料	26,057	25,380
受取賃貸料	29,520	29,520
その他	80,776	36,181
営業外収益合計	201,480	167,653
営業外費用		
支払利息	41,448	35,477
業務受託原価	23,981	23,358
賃貸収入原価	21,190	21,111
株式交付費	—	19,330
株式公開費用	—	8,433
その他	3,223	13,953
営業外費用合計	89,843	121,665
経常利益	707,871	1,026,734
特別利益		
固定資産売却益	1,090	766
特別利益合計	1,090	766
特別損失		
固定資産売却損	—	6,014
固定資産除却損	458	1,927
特別損失合計	458	7,942
税金等調整前四半期純利益	708,503	1,019,559
法人税、住民税及び事業税	51,019	101,427
法人税等調整額	△203,525	31,516
法人税等合計	△152,505	132,944
四半期純利益	861,009	886,615
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	861,009	886,615

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
四半期純利益	861,009	886,615
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	237	27
繰延ヘッジ損益	△3,023	1,209
為替換算調整勘定	1,946	△832
その他の包括利益合計	△838	404
四半期包括利益	860,170	887,019
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	860,170	887,019
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成27年6月24日に東京証券取引所マザーズ市場に上場いたしました。上場にあたり、平成27年6月23日を払込期日とする有償一般募集（ブックビルディング方式による募集）による新株式発行600,000株により、資本金及び資本準備金がそれぞれ469,200千円増加しております。

また、平成27年7月22日を払込期日とする、オーバーアロットメントによる当社株式の売出しに関連した第三者割当増資により、発行済株式総数が292,900株、資本金及び資本準備金がそれぞれ229,047千円増加しております。

この結果、当第3四半期連結会計期間末において、資本金は2,000,122千円、資本剰余金は698,247千円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)	四半期連結 損益計算書 計上額
	電子材料 スライス 周辺事業	特殊精密 機器事業	化学繊維用 紡糸ノズル 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	2,184,696	518,446	927,635	3,630,778	—	3,630,778
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	10,639	514	11,153	△11,153	—
計	2,184,696	529,085	928,149	3,641,932	△11,153	3,630,778
セグメント利益	506,464	3,963	76,579	587,007	9,227	596,234

(注) セグメント利益の調整額は、セグメント間の取引の消去によるものであり、これはグループ間の売上取引及び業務委託取引の消去によるものであります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)	四半期連結 損益計算書 計上額
	電子材料 スライス 周辺事業	特殊精密 機器事業	化学繊維用 紡糸ノズル 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	3,327,612	466,881	1,016,603	4,811,098	—	4,811,098
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	51,427	—	51,427	△51,427	—
計	3,327,612	518,309	1,016,603	4,862,525	△51,427	4,811,098
セグメント利益又は損失 (△)	896,352	△21,985	100,878	975,246	5,500	980,746

(注) セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間の取引の消去によるものであり、これはグループ間の売上取引及び業務委託取引の消去によるものであります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。